



中丹

# 農業改良 普及センターだより

集落の明日を考える  
「中丹京力農場プラン地域交流会」を開催！



## 基調講演

【ほ場を連坦集積して作業効率アップ、出役作業（草刈等）の体制整備などを紹介】



分科会で熱心に意見交換

1月13日に綾部市中央公民館で「中丹京力農場プラン地域交流会」を開催しました。28地域から52名の出席があり、舞鶴市の下東京力農場づくり委員会 岩見享氏から「将来へつなぐ農場づくり」と題する基調講演が行われ、府からは農地中間管理事業を説明しました。その後の3つの分科会で、各地域から活動内容の報告や課題、他の地域からの助言等、活発な情報交換が行われました。

京都府中丹広域振興局農林商工部

◆発行◆  
2016年(平成28年)3月

にし  
中丹西農業改良普及センター

〒620-0055 福知山市篠尾新町1-91  
TEL 0773-22-4901

e-mail:chushin-no-nishi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

ひがし  
中丹東農業改良普及センター

〒623-0012 綾部市川糸町丁畠10-2  
TEL 0773-42-2255

e-mail:chushin-no-higashi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

## 「万願寺甘とう」「黒大豆枝豆」の产地強化

中丹管内の野菜の主力である「万願寺甘とう」「黒大豆枝豆」の安定生産によるブランド产地強化を目指し、栽培技術資料の発行、栽培歴の浅い生産者を中心に個別巡回による技術支援、ポイントとなる作業時期にJAと協力して現地での実践を交えた研修会を行いました。

特に「万願寺甘とう」では、27年は過去最高の出荷量で販売金額3億4千万円を達成し、ブランド产地としての地位を確かなものになりました。また、产地の将来を担う栽培初心者の技術向上に向け、作業映像を作成しました。今後も出荷量、販売金額向上を目指し、支援していきます。

### 特色ある米づくりの推進

### 新たな担い手の育成



酒米「祝」「五百万石」および掛け米「京の輝き」の安定生産と技術普及を目標に、JA、研究機関等と協力し現地互見会や巡回を中心とした技術支援を行ってきました。今年度は3品種ともに管内の生産目標をおおむね達成しました。しかし、品質を改善する余地がまだあり、今後も品質向上のために支援していきます。



新規就農者等（定年帰農者含む）の基礎知識・技術習得を目標に、「中丹地域農業基礎講座」と「紫ずきん新規栽培者講座」を開催しました。

基礎講座では土壤肥料や病害虫防除、栽培概要等、新規栽培者講座では紫ずきん栽培のポイントや手順等の内容で行いました。来年度も実施しますので興味のある方は普及センターへ御一報ください。

地域活性化のため、JAと連携して、新規就農者等（定年帰農者含む）の基礎知識・技術習得を目標に、「中丹地域農業基礎講座」と「紫ずきん新規栽培者講座」を開催しました。

短期経営計画を作成した若い農業者（就農10年未満）のフォローアップとして、営農相談や技術支援を行っています。その一環として昨年12月集合研修を実施し、経営の点検・見直し、次年度の計画作成を支援しました。



その結果、新品種導入による冬期の安定栽培や、販売先の拡大による単価の安定、生産現場での環境改善が図られるようになりました。今後は、ハウス面積の拡大と省力機械化を進めて、収益性をさらに高めています。



### 地域農業を担う法人の経営支援

中山間地に適した特産物である「山ブキ」の栽培に、集落単位で取り組むモデルを支援しています。福知山市の三岳地域では、市内別作業の省力化で栽培面積が1haに拡大しました。同市三和町の辻地域では、オーナー園や栽培希望者向け研修会場を整備・提供されました。今後も地域内外の力を活用した取組を支援していきます。



### 地域特産物の振興による地域の活性化

# クローズアップ中丹

Vol.2

～様々な角度から頑張る方々を紹介～

## 川合集落（福知山市三和町）

- ・中心となる担い手 1戸 + 1組織
- ・水田面積 54ha



川合地域は山間で小さな田が多く、高齢化の進展で耕作放棄が危ぶまれます。このため、地域の農業委員、農区長、農業法人で構成する「川合地域農場づくり協議会」が月一回の定例会で相談しながら、中心的担い手である「農事組合法」がわい」がその農地を引き受け、体制をとっています。

また耕作者の営農意欲の維持に繋がるよう、獣害防止柵の設置、放置竹林の伐採や排水不良田の改良、被災施設の復旧などを支援しています。



伐採した竹から竹炭づくり

## 京力農場（福知山市三和町）

川合地域は山間で小さな田が多く、高齢化の進展で耕作放棄が危ぶまれます。このため、地域の農業委員、農区長、農業法人で構成する「川合地域農場づくり協議会」

が月一回の定例会で相談しながら、

中心的担い手である「農事組合法」

がわい」がその農地を引き受け、

体制をとっています。

また耕作者の営農意欲の維持に

繋がるよう、獣害防止柵の設置、

放置竹林の伐採や排水不良田の改

良、被災施設の復旧などを支援しています。

今後は、地域女性の活躍の場づくりと経営安定を目指して万願寺甘とうの生産に取組むなど、有利な作物を選び、地域と関わりの深い営農形態をとりながら集落全体で農地を守る取組みを続けていきます。



植田孝太郎さん  
(福知山市十二)

帰農者を含め、地域全体で農地を守つていく必要が思っています。継続して農業をやってもらえるように技術や経営の助言をしていきたいと思います。

研修では、指導者の近くで栽培ポイントやタイミングを学べたことで、技術が身につき、今につながっています。もう少し長い期間学びたかったです。今後は万願寺甘とうの拡大と冬野菜に挑戦したいと考えています。



木下雄介さん  
(平成24年 就農)  
舞鶴市字木ノ下

### 経営内容(27年度)

- ・万願寺甘とう 7.4a
- ・採種用野菜 5.4a

## 地域で活躍する農業士

## 担い手養成実践農場研修修了者にきて へ経営開始型

## ○○さん家のお料理レシピ

## 「黒豆寿司」

舞鶴市生活研究グループの皆さんにお聞きしました。



米	1升(1.5kg)
黒大豆	300 g
★酢	200 cc
★砂糖	200 g
★塩	20 g



- ①米は1時間程前に洗ってザルにあげておく。
- ②黒大豆は多めの水に塩少々加え、固めにゆでておく。(ゆで汁は炊飯に使う)
- ③★を砂糖が溶ける程度に熱する。
- ④水気を切った米に豆の煮汁を加え、1割増の水加減にし、黒大豆をのせて炊く。
- ⑤寿司桶などにご飯を移し、③を加えて切るようにして混ぜ合わせる。



盛り付けに紅生姜、緑の漬け物などと合わせてお召し上がりください

後継者の育成等  
よろしく  
お願ひします！

# 新しい農業士さんです



あだち けいこ  
**足立恵子さん**  
(福知山市夜久野)



にしやま かずと  
**西山和人さん**  
(綾部市小畑)



むくもと かずあき  
**椋本和明さん**  
(舞鶴市泉源寺)

うちに、耕作する水田の枚数は、3枚となりました。さらに昨年には、「株式会社椋本営農」を設立し、体制の強化を図っています。今後は、農業経営の安定を図り、地元集落のためにも、農業士として農業を営んでいきたいと考えています。

うちは、耕作する水田の枚数は、3枚となりました。さらに昨年には、「株式会社椋本営農」を設立し、体制の強化を図っています。今後は、農業経営の安定を図り、地元集落のためにも、農業士として農業を営んでいきたいと考えています。

## ～退任された農業士さん～

藤原みや子さん（福知山市）  
泉 金雄さん（舞鶴市）  
内田 修さん（綾部市）  
大田 真和さん（”）



## 中丹の茶が産地賞を受賞！



舞鶴茶生産組合河田組合長(左)

平成27年に静岡県で行われた第69回全国茶品評会の「かぶせ茶の部」において、舞鶴市が4年連続で産地賞を受賞しました。中丹地域の産地として全国で評価されています。

## 中丹地域農業応援隊を設立！

昨年の12月15日に中丹地域農業応援隊を設立しました。設立の目的は、農業を営む方（法人含む）の経営改善や所得向上の支援です。

構成団体は、京都府中丹広域振興局、京都府農業総合支援センター、管内の各市、農業協同組合、商工會議所、商工会です。この組織の特徴は、これまでにない「商工関係機関」が参画した幅広い支援体制になります。

今後は、從来の農業技術・経営相談に加え、6次産業化や農商工連携を考えた相談ください。



軽野隊長(東農業改良普及センター所長)から決意表明

「先祖からもらつた農地を放つておけない。たながら、地域の農地を耕作放棄地を解消する引き受けできました。このようないいを持ちます。地域の農地を預かり、耕作放棄地を解消する

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をすばやくお客様に」という教えをモットーに稻作経営を引き継ぎました。平成24年には、地域の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指しています。

農業は、他の仕事よりも、地元の人や顧客、関係機関など様々な人の交流やつながりを大切に

しなければならない仕事だと考えていました。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をすば

やくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前に、「家族に食

べさせたい農産物をす

ばやくお客様に」とい

う教えをモットーに稻

作経営を引き継ぎまし

た。平成24年には、地域

の農地の受け皿となる

ため「株式会社丹波西山」を設立し、現在では、6次

産業化にも取り組み、経営の多角化を目指していま

す。若い農業者にはそのことを伝えて

いきたいと考えています。

8年前